（様式1）

学校番号	中等3	学校名	古河中等教育学校

令和6年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・教育諸法規
・学習指導要領

校訓

Create the Future ～未来を創造しよう～
「創造」「挑戦」「貢献」

学校の教育目標

豊かな心と確かな人間性を兼ね備えた次代のリーダー育成を目指す。

生徒の実態

豊かな心と確かな人間性を兼ね備えた次代のリーダー育成を目指す。

保護者の願い

・希望大学の進学が果たせるような高い学力と地域のリーダーになれるような豊かな人間性を身につける。

道徳教育重点目標

・基本的生活習慣を確立し、節度を守り節制に心掛け、心身の調和のある生活の実現に努める。
・自主自立の精神を高め、正しく物事を判断し、誠実に実践し、その結果に責任をもつ。
・他の人々の立場を尊重し、感謝と思いやりの心をもって接する。
・生命の尊さを深く理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。
・学校の一員としての自覚と責任をもち、教師や学校の人々に尊敬と感謝の念を深め、よき信頼関係を基に、よりよい校風を築く。

地域の実態

・県西地域のリーダー育成を担う6年間の中高一貫校として期待されている。

各教科・科目

国語	たくさんの文章を読み、理解することにより、思考力を伸ばし、心情を豊かにする。
地歴	我が国及び世界の国々の歴史や文化を正しく理解することにより、広い視野を養う。
数学	数理・論理的な考え方を養うことによって、様々な場面における的確な判断力を養う。
理科	自然に対する関心や探究心を深め、科学的な自然観を養い、日常生活に積極的に活用する態度を育
保体	健康・安全の知識や様々な運動の実践を通して、体力の向上を図り、明るく豊かな生活を送れる力を
芸術	芸術の幅広い活動を通して、感性を高め、豊かな情操を養い、道徳性の基礎を培う。
外国語	言語や文化に対する関心を深め、異文化を理解し尊重する態度や積極的にコミュニケーションを図ろう
家庭	生活に必要な知識や技術を習得させるとともに、家族や家庭、社会の意義について考えさせる。
情報	情報及び情報技術を活用する知識と技能を習得することによって、情報に対するモラルやマナー、考え
総合的な探究の時間	・「道徳」の授業担当者によるテキストを使用した授業を通して、「自分自身に関すること」「他の人とのかかわりに関すること」「自然や崇高なものとのかかわりに関すること」「集団や社会とのかかわりに関すること」などについての生徒の道徳性を養うこと
専門	

特別活動

ホームルーム活動

・生徒のもつ現実の諸問題を共同で解決しようとすることによって、物を見る力、批判力、考える力を体得させ、よりよい集団生活が送れるようにする。
・生徒一人一人の生活環境等を客観的に把握し、人間として望ましい在り方生き方を自覚させるとともに、心の教育を充実させ、自主的な生活を営む機会をつくる。
・教師と生徒間の理解と協力の度を高め、望ましい自己実現を図るための適正な進路指導をするとともに、自主的に進路選択をする能力を養う。

（生徒会活動）
・生徒によって組織された生徒会活動において、学校生活の充実や改善・向上を図ろうとする自主的、実践的な態度を養う。学校行事、ボランティア活動等への取り組みを通して、協力の精神を養うとともに、愛校心や学校への所属感を高め、より良い校風と伝統を育てる。

公民科

公共

学習を通じて，現代社会の諸課題についての基本的な知識を身につけるとともに，課題の解決のために主体的に考え判断する能力を身に付けることを目指す。社会課題に対する見方，考え方はさまざまあり多面的であることを重視し，その複数性の中で生徒が自分で考え対話を通じて，合意形成を目指す，公共的存在としての能力を養うことにとくに重点を置く。
これを達成するために，さまざまな社会問題を身近な話題に引き付けて考えるテーマ学習を豊富に設定している。主体的，対話的な授業を通し，生徒が社会参画者であることの自覚を深めることを目標とする。

生徒指導

・心の教育の充実に努める。
・服装をきちんとさせるなど、規範意識の向上に努める。
・基本的生活習慣の確立に努める。
・安全で有意義な学校生活の充実に努める。
・ケイタイ・ネットの安全利用や薬物乱用防止教育の充実に努める。

家庭との連携

・家庭に対しては、道徳　教育の意義やねらいについて様々な機会で伝えていき、生徒の道徳性を高めるために、PTAの活動等とも連携した取り組みを展開していく。

地域社会との連携

・本校前期課程や地域の小中学校と連携し、「道徳」の授業参観などを通じて研修に努める。